

日本障害者歯科学会研修カリキュラム

障害者歯科医療における倫理と法

1. 医療倫理

一般目標：

医療倫理に関する基本的知識を身に付け、医療現場での倫理的問題に対して適切かつ迅速に対応するために、必要な知識および基本的技能と態度を修得する。

到達目標：

- 1) 医療倫理の4原則（自律尊重、善行、無危害、正義/公正）を説明できる。
- 2) ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言を概説できる。
- 3) 医療における倫理的問題を他の問題と区別できる
- 4) 患者ケアにおける倫理問題とは何かを理解し、他の人々と話し合うことができる。
- 5) 倫理問題に、「原則論」「手順論」「物語論」などの一定の方法でアプローチでき、必要時には助言を求めることができる。
- 6) 具体的な事例を通して医療倫理と法について学び、実際の医療現場で活用できる。

2. 障害者歯科と社会背景

一般目標：

障害のある患者の歯科的健康の維持と患者・家族のQOLの向上のために障害者歯科医療を実施するために必要な知識および基本的技能と態度を修得する。

到達目標：

- 1) スペシャルニーズを理解する。
- 2) 障害の概念として国際障害分類と国際生活機能分類、障害者基本法第2条を説明できる。
- 3) QOL、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザインを説明できる。
- 4) リハビリテーションの概念を説明できる。
- 5) 病気と障害を説明できる。
- 6) 障害のある親の心理（Drotar、1975）と死の心理過程モデル（Kubler-Ross、1969）を説明できる。
- 7) 日本国憲法第11条、障害者権利条約（国連）、障害者基本法（第1条、第3条、第4条）、倫理綱領（日本知的障害者福祉協会）、リスボン宣言を理解する。
- 8) 障害者総合支援法における基本理念、障害者の範囲、障害者に対する支援、訪問介護を説明するとともに障害者の居住環境を理解する。
- 9) 歯科口腔保健の推進に関する法律、障害者差別解消法、障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律を理解する。
- 10) 保険医療制度、介護保険制度、障害者医療費助成を理解する。
- 11) 地域障害者歯科医療における個人診療所、口腔保健センター、病院歯科、大学病院の役割と連携を理解する。

神経発達症群(神経発達障害群)と歯科医療

到達目標：

- 1) 神経発達障害の定義と分類を説明する。

1 知的能力障害(知的発達症/知的発達障害)(精神遅滞)

一般目標：

知的能力障害者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要(原因、疫学、概念、特性)を説明できる。
- 2) 知的発達の評価ができる。
- 3) 口腔の特徴と問題点を説明できる。
- 4) 歯科治療のレディネスを評価できる。
- 5) レディネスに応じた行動調整法を説明できる。
- 6) 不安や拒否に配慮した診察が実施できる。
- 7) 安全・確実な歯科治療および予防処置を実施できる。
- 8) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 9) 能力に応じた保健指導ができる。
- 10) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

2 自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害

一般目標：

自閉スペクトラム症児者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要(原因、疫学、概念、特性)を説明できる。
- 2) 口腔の特徴と問題点を説明できる。
- 3) 歯科治療のレディネスを評価できる。
- 4) レディネスに応じた行動調整法を説明できる。
- 5) 特性に配慮した対応法(視覚支援、PECS、マカトン、応用行動分析、系統的脱感作)を説明できる。
- 6) 安全・確実な歯科治療および予防処置を実施できる。
- 7) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 8) 能力に応じた保健指導ができる。
- 9) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

3 注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害（ADHD）

一般目標：

注意欠如・多動症者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学，概念，特性）を説明できる。
- 2) 口腔の特徴と問題点を説明できる。
- 3) レディネスに応じた行動調整法を説明できる。
- 4) 歯科治療のレディネスを評価できる。
- 5) 特性に配慮した診察ができる。
- 6) 安全・確実な歯科治療および予防処置を実施できる。
- 7) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 8) 能力に応じた保健指導ができる。
- 9) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

4 限局性学習症/限局性学習障害

一般目標：

限局性学習症児者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識および基本的技能と態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学，概念）を説明できる。
- 2) 特性を説明できる。
- 3) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 4) 能力に応じた保健指導ができる。
- 5) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

精神障害者と歯科医療

到達目標：

- 1) 精神保健福祉法第5条における精神障害の範囲を説明する。

1 統合失調症

一般目標：

統合失調症のある者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識および基本的技能と態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学、概念、分類、特性）を説明できる。
- 2) 基本的な精神科治療を説明できる。
- 3) 常用薬の歯科医療への影響を説明できる。
- 4) 口腔の特徴を説明できる。
- 5) 特性に配慮した診察と対応ができる。
- 6) 安全・確実な歯科治療および予防処置を実施できる。
- 7) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 8) 特性に応じた保健指導ができる。
- 9) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

2 双極性障害およびうつ病

一般目標：

双極性障害およびうつ病のある者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識および基本的技能と態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学、分類、概念）を説明できる。
- 2) 基本的な精神科治療を説明できる。
- 3) 常用薬の歯科医療への影響を説明できる。
- 4) 口腔の特徴を説明できる。
- 5) 特性に配慮した診察と対応ができる。
- 6) 安全・確実な歯科治療および予防処置を実施できる。
- 7) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 8) 特性に応じた保健指導ができる。
- 9) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

3 不安症/不安障害

一般目標：

不安症のある者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学，概念，特性）を説明できる。
- 2) 基本的な精神科治療を説明できる。
- 3) 常用薬の歯科医療への影響を説明できる。
- 4) 口腔の特徴を説明できる。
- 5) 特性に配慮した診察と対応ができる。
- 6) 安全・確実な歯科治療および予防処置を実施できる。
- 7) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 8) 特性に応じた保健指導ができる。
- 9) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

4 身体症状障害

一般目標：

身体症状障害のある者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学，概念，特性）を説明できる。
- 2) 基本的な精神科治療を説明できる。
- 3) 常用薬の歯科医療への影響を説明できる。
- 4) 口腔の特徴を説明できる。
- 5) 特性に配慮した診察と対応ができる。
- 6) 安全・確実な歯科治療および予防処置を実施できる。
- 7) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 8) 特性に応じた保健指導ができる。
- 9) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

5 神経認知障害（認知症）

一般目標：

神経認知障害のある者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学，概念）を説明できる。
- 2) 原因疾患とその特性を説明できる。
- 3) 認知機能の評価が行える。
- 4) 基本的な精神科治療を説明できる。
- 5) 常用薬の歯科医療への影響を説明できる。
- 6) 口腔の特徴を説明できる。
- 7) 特性に配慮した診察と対応ができる。

- 8) 安全・確実な歯科治療および予防処置を実施できる。
- 9) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 10) 特性に応じた保健指導ができる。
- 11) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

6 てんかん

一般目標：

てんかんの特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学、概念）を説明できる。
- 2) 分類と特徴を説明できる。
- 3) 基本的な精神科治療を説明できる。
- 4) 常用薬の歯科医療への影響（相互作用、歯肉増殖）を説明できる。
- 5) 口腔の特徴を説明できる。
- 6) 発作の危険性を説明できる。
- 7) 発作時の対応ができる。
- 8) 薬物性歯肉増殖への対応と保健指導ができる。
- 9) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

7 食行動障害および摂食障害

一般目標：

食行動障害および摂食障害のある者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学、概念、特性）を説明できる。
- 2) 基本的な精神科治療を説明できる。
- 3) 口腔の特徴（歯の脱灰、粘膜の炎症）を説明できる。
- 4) 特性に配慮した診察と対応ができる。
- 5) 安全・確実な歯科治療および予防処置を実施できる。
- 6) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 7) 特性に配慮した保健指導ができる。
- 8) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

身体障害者と歯科医療

到達目標：

- 1) 身体障害者福祉法における身体障害の定義と分類を説明する。
- 2) ADL (FIM, Barthel Index, Katz Index) と IADL を評価できる。

1 脳性麻痺

一般目標：

脳性麻痺者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要 (原因、疫学, 概念) を説明できる。
- 2) 臨床分類と特性を説明できる。
- 3) 基本的な医療と療育を説明できる。
- 4) 合併症を説明できる。
- 5) 口腔の特徴を説明できる。
- 6) 特性に配慮した診察と対応 (Bobath 姿勢緊張調整パターン、前投薬、鎮静法) ができる。
- 7) 安全・確実な歯科治療および予防処置を実施できる。
- 8) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 9) 特性に応じた保健指導ができる。
- 10) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

2 重症心身障害児 (者)

一般目標：

重症心身障害児・者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要 (原因、疫学, 概念) を説明できる。
- 2) 臨床分類と特性を説明できる。
- 3) 基本的な医療と療育を説明できる。
- 4) 合併症を説明できる。
- 5) 口腔の特徴を説明できる。
- 6) 特性に配慮した診察と対応 (Bobath 姿勢緊張調整パターン、前投薬、鎮静法) ができる。
- 7) 安全・確実な歯科治療および予防処置を実施できる。
- 8) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 9) 特性に応じた保健指導ができる。
- 10) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

3 筋ジストロフィー

一般目標：

筋ジストロフィー者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学，概念）を説明できる。
- 2) 臨床分類と症状、経過を説明できる。
- 3) 基本的な医療を説明できる。
- 4) 合併症を説明できる。
- 5) 口腔の特徴を説明できる。
- 6) 特性に配慮した診察と対応ができる。
- 7) 安全・確実な歯科治療および予防処置を実施できる。
- 8) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 9) 特性に応じた保健指導ができる。
- 10) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

4 脊髄損傷

一般目標：

脊髄損傷者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識および基本的技能と態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学，概念）を説明できる。
- 2) 臨床分類と症状を説明できる。
- 3) 基本的な医療を説明できる。
- 4) 合併症を説明できる。
- 5) 歯科治療時の注意点（起立性低血圧、自律神経過反射による血圧上昇、徐脈）を説明できる。
- 6) 特性に配慮した保健指導ができる。
- 7) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

5 関節リウマチ

一般目標：

関節リウマチ者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学，概念）を説明できる。
- 2) 臨床分類と症状、経過を説明できる。
- 3) 基本的な医療を説明できる。
- 4) 常用薬の影響を説明できる。

- 5) 口腔の特徴を説明できる。
- 6) 特性に配慮した診察と対応ができる。
- 7) 特性に配慮した歯科治療時の対応が実施できる。
- 8) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 9) 特性に配慮した保健指導ができる。
- 10) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

6 Parkinson 病

一般目標：

Parkinson 病者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（疫学，概念、病態）を説明できる。
- 2) 臨床分類と症状、経過（Hoehn-Yahr の重症度分類）を説明できる。
- 3) 基本的な医療を説明できる。
- 4) 常用薬の影響を説明できる。
- 5) 口腔の特徴を説明できる。
- 6) 特性に配慮した診察と対応ができる。
- 7) 特性に配慮した歯科治療時の対応が実施できる。
- 8) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 9) 特性に配慮した保健指導ができる。
- 10) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

7 脳血管障害

一般目標：

脳血管障害後遺症者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（疫学，概念、病態）を説明できる。
- 2) 分類と症状を説明できる。
- 3) 基本的な医療を説明できる。
- 4) 常用薬の影響と対応を説明できる。
- 5) 口腔の特徴を説明できる。
- 6) 特性に配慮した診察と対応ができる。
- 7) 偶発症を予防するために歯科治療時の管理法を実施できる。
- 8) 歯科治療が困難な脳血管障害後遺症者を高次医療機関へ紹介できる。
- 9) 症状に配慮した保健指導ができる。
- 10) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

8 脊髄小脳変性症

一般目標：

脊髄小脳変性症者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（疫学，概念、病態）を説明できる。
- 2) 症状と経過を説明できる。
- 3) 基本的な医療を説明できる。
- 4) 口腔の特徴を説明できる。
- 5) 特性に配慮した診察と対応ができる。
- 6) 偶発症を予防するために歯科治療時の管理法を実施できる。
- 7) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 8) 症状に配慮した保健指導ができる。
- 9) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

9 筋萎縮性側索硬化症

一般目標：

筋萎縮性側索硬化症者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（疫学，概念、病態）を説明できる。
- 2) 症状と経過を説明できる。
- 3) 基本的な医療を説明できる。
- 4) 口腔の特徴を説明できる。
- 5) 特性に配慮した診察と対応ができる。
- 6) 偶発症を予防するために歯科治療時の管理法を実施できる。
- 7) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 8) 症状に配慮した保健指導ができる。
- 9) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

10 視覚障害

一般目標：

視覚障害者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学，概念）を説明できる。
- 2) 臨床分類と症状を説明できる。
- 3) 支援機器を説明できる。

- 4) 口腔の特徴を説明できる。
- 5) 特性に配慮した診察と対応ができる。
- 6) 特性に配慮した保健指導ができる。
- 7) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

11 聴覚障害

一般目標：

聴覚障害者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学，概念）を説明できる。
- 2) 臨床分類と症状を説明できる。
- 3) 支援機器を説明できる。
- 4) 口腔の特徴を説明できる。
- 5) 特性に配慮した診察と対応ができる。
- 6) 特性に配慮した保健指導ができる。
- 7) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

12 平衡機能障害

一般目標：

平衡機能障害者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学，概念）を説明できる。
- 2) 臨床分類と症状を説明できる。
- 3) 基本的な医療を説明できる。
- 4) 口腔の特徴を説明できる。
- 5) 特性に配慮した診察と対応ができる。
- 6) 歯科治療時のめまいへの対応ができる。
- 7) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

13 音声・言語障害

一般目標：

音声・言語障害者の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 定義や概要（原因、疫学，概念）を説明できる。
- 2) 臨床分類と症状を説明できる。

- 3) 音声言語障害の検査法を説明できる。
- 4) 音声言語障害の歯科的対応を説明できる。
- 5) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

14 摂食嚥下障害

一般目標：

摂食嚥下障害者の症状に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 摂食嚥下機能の発達を説明できる。
- 2) 5期モデルとプロセスモデルを説明できる。
- 3) 摂食嚥下の各期の障害を説明できる。
- 4) 摂食嚥下障害の原因疾患を説明できる。
- 5) 栄養評価ができる。
- 6) 摂食嚥下障害の評価ができる。
- 7) 他職種と連携ができる。
- 8) 必要に応じて高次医療機関へ紹介できる。
- 9) 精密検査結果を評価し、診断ができる。
- 10) 病態に応じた基礎訓練と代償法を説明できる。
- 11) 摂食嚥下リハビリテーションの適応症、禁忌症が説明できる。
- 12) 誤嚥性肺炎と口腔ケアの重要性を説明できる。
- 13) NST を説明できる。

内科的疾患と歯科医療

一般目標：

内科疾患の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識および基本的技能と態度を修得する。

到達目標：

- 1) 注意すべき内科疾患・病態の定義や概要（疫学，概念、病態）を説明できる。
- 2) 内科疾患の症状と経過を説明できる。
- 3) 基本的な内科的治療を説明できる。
- 4) 疾患による口腔の特徴を説明できる。
- 5) 常用薬が歯科疾患と歯科治療に及ぼす影響を説明できる。
- 6) 疾患に配慮した診察と対応ができる。
- 7) 偶発症を予防するための歯科治療時の管理法を実施できる。
- 8) 歯科治療が困難な内科疾患患者を高次医療機関へ紹介できる。
- 9) 症状に配慮した保健指導ができる。
- 10) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

症候群と歯科医療

一般目標：

症候群の特性に配慮した歯科医療を実施するために必要な知識および基本的技能と態度を修得する。

到達目標：

- 1) 注意すべき症候群の定義や概要（疫学，概念、病態、合併症）を説明できる。
- 2) 口腔の特徴を説明できる。
- 3) 各症候群に配慮した診察と対応ができる。
- 4) 合併症の増悪を予防するために歯科治療時の管理法を実施できる。
- 5) 歯科治療が困難な者を高次医療機関へ紹介できる。
- 6) 特性に配慮した保健指導ができる。
- 7) 生活環境に配慮し、保護者および介助者に障害者の歯科口腔保健に対して支援できる。

行動調整

一般目標：

スペシャルニーズのある患者の状態に応じた行動調整法を実施するために必要な知識、基本的技能および態度を修得する。

到達目標：

- 1) 行動調整法の概要を説明できる。
- 2) 障害のある人への対応の基本を説明できる。
- 3) 各種行動療法や対応を説明できる。
- 4) 行動療法により行動変容ができる。
- 5) ストレスが歯科治療時の行動に与える影響を説明できる。
- 6) 薬物的行動調整法の適応症、禁忌症、使用法を説明できる。
- 7) 特殊な行動調整が必要な患者を見極め、高次医療機関へ紹介できる。
- 8) 開口保定器の種類と使用上の注意点を説明し、安全に使用できる。
- 9) 物理的な体動コントロールの概要（利点、欠点、方法）を説明できる。
- 10) 物理的な体動コントロールの実施時にインフォームド・コンセントを実施できる。

障害者歯科における医療面接と医療

1. コミュニケーション

一般目標：

スペシャルニーズのある患者と保護者あるいは介助者とのコミュニケーションの重要性を理解し、信頼関係の確立に役立つ能力を身につける。

到達目標

- 1) コミュニケーションの方法と技能（言語的（手話を含む）と非言語的）を説明し、コミュニケーションが患者の態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。
- 2) 適切なコミュニケーション方法を選択できる。
- 3) コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
- 4) コミュニケーション手段および情報の取得や利用のための手段について、選択の機会を与えられる。
- 5) 共感的態度で聴取および傾聴することができる。

2. 信頼関係

一般目標：

患者と歯科医師の良好な関係を築くために、患者の精神・心理的状况や個別的背景を理解し、問題点を把握する能力を身につける。

到達目標：

- 1) 患者と家族の精神的・身体的苦痛に配慮できる。
- 2) 患者と家族にわかりやすい言葉で話すことができる。
- 3) 患者と家族の話を共感的に傾聴できる。
- 4) 患者の精神・身体的状況、心理的状况、社会的背景から、口腔の健康を維持し、歯科治療を行う際の問題点を抽出できる。
- 5) 治療方針や歯科的管理方針について患者と家族の気持ちに寄り添いながら話し合うことができる。

3. インフォームド・コンセント

一般目標：

自己決定に関連する項目を習得するとともに患者の意志決定が確認できない時に配慮すべき事項と適切なプロセスを習得する。

到達目標：

- 1) 適切なインフォームド・コンセントを取得できる。
- 2) 患者が自己決定できない場合の対処法を説明できる。
- 3) 障害のある患者とその保護者・家族に対して心理的配慮ができる。
- 4) 患者の質問に適切に答え、拒否的反応にも柔軟に対応できる。

4．患者中心のチーム医療と連携

一般目標：

チーム医療、福祉、介護と歯科医療との関連の重要性を理解し、他職種との連携を図る能力を身につける。

到達目標：

- 1) チーム医療の重要性を理解し、説明できる。
- 2) 医療チームの構成や各職種の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。
- 3) 自分の医療の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求め、高次医療機関に紹介できる。
- 4) 保健、医療、福祉、介護とのチーム連携において歯科医師の役割を説明できる。

5．エビデンスに基づいた医療

一般目標：

認定医を取得する歯科医が研修期間中に医学・医療に関連する情報を重要性と必要性にしたがって客観的・批判的に統合整理する基本的能力（知識、技能、態度・行動）と「問題対応能力」即ち EBM の考え方と実践法を身につける。

到達目標：

- 1) 講演、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。
- 2) 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
- 3) 患者や疾患の分析をもとに、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。
- 4) 科学的根拠に基づいた医療の評価と検証の必要性を説明できる。
- 5) 患者による医療の評価の重要性を説明できる。

医療安全管理

1. 安全の確保

一般目標：

医療上の事故（インシデントを含む）や医療関連感染症（院内感染を含む）等は日常的に起こる可能性があることを認識し、過去の事例に学び、事故を防止して患者の安全性確保を最優先することにより、信頼のもとに医療を提供することができる。

到達目標：

- 1) 医療上の事故等を防止するためには、個人の注意力はもとより、組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。
- 2) 医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療記録改竄の違法性について説明できる。
- 3) 医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害や医療過誤等の事例（経緯を含む）、やっではないこと、優れた取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。
- 4) 医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。
- 5) 医療機関における医療安全管理体制の在り方（事故報告書、インシデントリポート、リスク管理者、事故防止委員会、事故調査委員会）を概説できる。
- 6) 医療関連感染症の原因および回避する方法を概説できる。

2. 医療事故等への対処と予防

一般目標：

医療上の事故等（インシデントを含む）が発生した場合の対処の仕方を学ぶ。

到達目標：

- 1) インシデント（ヒヤリハット）、医事紛争、医療事故、医療過誤の違いを説明できる。
- 2) 医療上の事故が発生したときの緊急処置や記録、報告について説明し、実践できる。
- 3) 医療過誤に関連して医師に課せられた社会的責任と罰則規定（行政処分、民事責任、刑事責任）を説明できる。
- 4) 基本的予防策（ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセイフ・フルブルーフの考え方）について概説し、実践できる。
- 5) チーム STEPPS (Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety = 医療の成果と患者の安全を高めるためにチームで取り組む戦略と方法)を理解し、実践できる。
- 6) RCA (Root Cause Analysis) を説明し、実践できる。

3. 医療従事者の健康と安全

一般目標：

医療従事者が遭遇する危険性（事故、感染等）等について、基本的な予防・対処および改善の方法を学ぶ。

到達目標：

- 1) 医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。

- 2) 標準予防策 (Standard Precautions) の必要性を説明し、実行できる。
- 3) 感染経路別の予防策について説明できる。
- 4) 針刺し切創等に遭遇した際の対処を説明できる。
- 5) 医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。

障害者歯科医療への貢献・学会活動への参加

一般目標：

歯科医学を生涯通じて学び、障害者歯科医療に貢献する姿勢を身につける。

到達目標：

- 1) 最新の医療情報を得るために学術集会や研究会へ参加する。
- 2) 調査・研究の内容を決められた様式にしたがって文書と口頭で発表する。
- 3) 検索・検出した医学・医療情報から新たな課題・仮説を設定し、解決に向けて科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。
- 4) 経験した症例を分析し、過去の報告を踏まえて考察し、文書と口頭で報告する。
- 5) 個人情報を守り、倫理的諸原則を遵守できる。

2015年11月 認定委員会作成